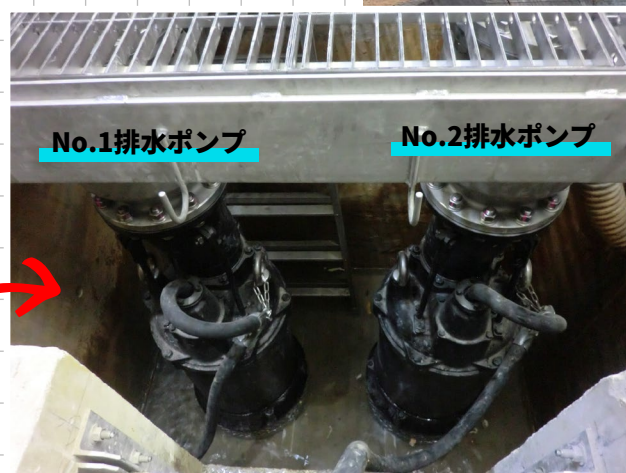


空気弁



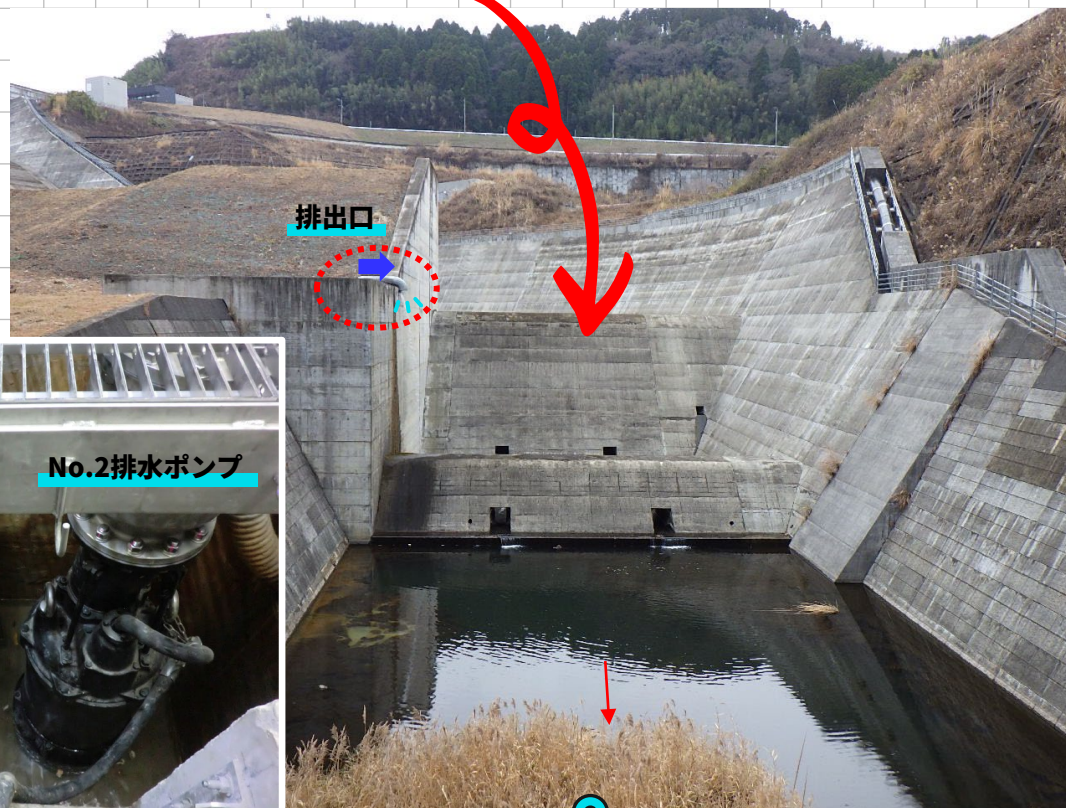
No.2排水ポンプ

No.1排水ポンプ



No.1排水ポンプ

No.2排水ポンプ



減勢工

排出口

型 式

排水用水中ポンプ（高揚程型）

仕 様

 吐出口径：φ200mm，
 吐出量：2.4m³/min/1台，
 全揚程：42.0m，出力：37kw

台 数

2台（通常単独交互運転，最大時2台同時運転）

排 水 管

 口径：φ250mm×1本（SUS製），
 空気弁1箇所，延長：約132m

施設概要

ななせダムの基礎地盤は、七瀬川の河床から約20m掘り下げている。基礎地盤等からの浸透水はダム監査廊内へ集水し、堤体外へ排出するために設置された排水ポンプ施設。場内排水ポンプは、排水ピット内に設置しており、下流連絡通廊に敷設した配管から減勢工へ排出している。

ランダム情報

堤内排水ポンプの稼働中に、排水管内に気泡や空気溜まりが生じると流れの抵抗となり、排水流量が所定の量、排水ができない。そのため、排水管頂部付近に空気弁を設け、所定の量の排水ができるようにしている。